

# 住みやすい「まちづくり」を目指して



質問者  
小澤 啓司 議員

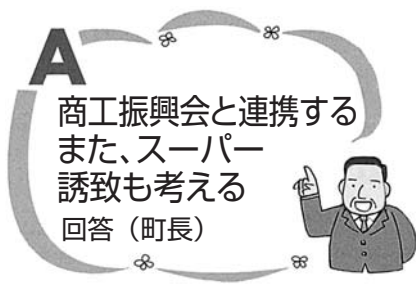
直面向く課題について、下記の通りお尋ねします。

① 新松田駅周辺の「地区計画」が示されましたが、その後の進捗状況及び住民説明会の日程について説明を求めます。

② 高齢化が進んでいる折、スーパーの撤退など商店の減少により、高齢者の日常的な買い物に不便になっております。定住化対策を進める上でもどのような対策をお持ちですか。

③ 足柄上商工会では、「観光資源の開発による経済効果の創出」プロジェクトを行っています。最明寺史跡公園の整備や松田城址の公園化、新たな農産物の企

画など松田山南斜面の活用は考えていますか。



① 第1回の説明会の後、意見の募集を行った。これら意見の問題点を整理し、県と打ち合わせを行っている。町としては大きな事業になるため、他市町の事例を収集し、慎重に検討し間違いないよう進めてゆく。

② 商店街の活性化につ

いては、振興会と連携を取りながら、具体的な提案が有れば全力を挙げて支援する。また、住民の利便性向上の観点から、スーパー誘致についても、将来の経営見通しがつけば協力してゆく。

③ 最明寺史跡公園は、今後とも計画的に整備を進める。隣接する「前田屋外美術」建設跡地の維持管理は、これからの検討課題である。松田城址一帯は農業振興地域であり公園化する計画はない。松田山南斜面の観光農園化は、地元の要請もなく新たな計画は考えていない。

# 「住みたい町づくり」の具現化について示されたい



質問者  
石内 浩 議員

① 10年後及び将来の町のイメージがわからない。ソフト・ハード両面での町長としての考え方・独自性など、一般的町民レベルで説明されたい。

② 生産人口の増加を図るためには、町民の協力体制が不可欠と思うが、

1. 施設等の老朽化対策、必要な設備計画での合意の方法は。  
2. 高齢化に伴うハード面のバリアフリー化、及び生活上の不便の解消のための必要な分析はできているのか。  
3. 次の世代に自信をもつて、バトンタッチできる基盤づくりとなっ

ているか。また、教育基金法改正による「我が国と郷土を愛する態度を養う」による必要な町の対応はあるのか。



① 第5次総合計画は従来10年以上だったが、計画期間を8年間とした。暮らしやすい環境づくり、活性化につながる交流事業等をポイントに、素晴らしい自然環境を受け継げるよ

う努力したい。また、人口減少に歯止めをかけるためにも、目標人口を11,000人とするための施策を推進する。

② 生産年齢人口の増加は納税増加にもつながり、定住化対策のキープポイントになるため、町有地はもちろん、県所有地の取得を図り、民間活力を活用した定住化対策を進め、若い世代の入居可能な町営住宅等を検討する。同時に、松田で育てられた若者が戻り、大家族で暮らせられたらと思う。小学生の大名行列など、様々な人との交流により、その体験が地域への愛着を深める。

## あんしんメール

松田町では、町民の皆さんに地震・台風などの防災情報、不審者の目撃情報や防犯情報などを電子メールで、携帯電話やパソコンに配信する「あんしんメール」のサービスを行っています！

問合せ：企画財政課  
TEL83-1222